



事業所名 株式会社日出ハイテック

業 種 半導体関連業

事業内容 1986年に第三セクター方式にて日出町に設立、2008年に完全民営化となり今年31周年を迎えました。主な事業は半導体の設計・開発から製造までの一貫事業を行っており、特に車載向け半導体に注力しています。

従業員数 合計84人（うち男性72人、女性12人）

所在地 速見郡日出町大字大神8133番地

HPアドレス <http://www.hht.co.jp/>



代表取締役 岩尾 出男

社員個々が、健康で十分働けることが、会社経営の土台だと常々意識しています。毎年の年頭メッセージでも、「健康で、ベストコンディションを維持することは大切な仕事の一部」だと繰り返し伝えるようにしています。「弱者と、お年寄りに冷たい社会は滅びる」とは私がお世話になっているドクターの言葉ですが、会社組織でも同じことが言えると考えています。

健康な時にこそ、それが失われた時のことをイメージして、健康であることの貴重さを大切にす社風を育てていきたいと思っています。

取組① 従業員が健康診断・再検査等を受診しやすい体制づくり！

健康診断は、健診車にての受診または健診機関での受診を選択できるようにしており、担当者が健診希望日を確認し一括申込みを行っております。

また、要精密検査や要治療者へは受診を促す文書を配布、一緒に受診結果についての提出書類も同封しており、健診100%と共に再検査等についても100%把握ができています。

本年度より健診機関と連携し、希望者にはバリウムを胃カメラに変更(差額個人負担)、オプション検査追加可能(個人負担)とし、従業員の健康診断の幅が広がりました。



再検査結果も100%把握

取組② 衛生委員会の活性化（喫煙所の設置・東部保健所の健康講話による健康教育の実施）

衛生委員会を月に1度開催し、そこで健康づくりについても取り組んでおります。昨年度は、労働局の補助金を活用し建物外に喫煙所を設置、建物内全面禁煙を実施しました。あわせてタバコに関する健康講話を東部保健所協力のもと開催し、禁煙に至った社員もおります。

本年度は、日出町が塩分摂取量県No.1ということもあり、「食生活/節塩」について行っていただき、カップ麺の食べ方など、社員の意識に大きな変化がありました。『健康について真剣に考えてもらえる場にしてほしい!』との管理者の思いから、今後も定例行事として実施予定です。



喫煙所



健康教育の様子

取組③ 従業員が自然と健康づくりに取り組める仕掛けづくり！

昨年度は、ホコタッチ（歩行計）を使った福利厚生制度（入院休暇制度/特別休暇）を独自に導入。ホコタッチの結果レポートのA・B・Cをポイント制とし、ポイントを増やすことで、入院時に利用できる休暇を付与する制度。歩行の質・量を意識し、運動量を増やすことでポイントが貯まり、万が一の場合の休暇を取得することができる。たくさん運動した人へのご褒美制度という仕掛けづくりを導入し、従業員の運動量アップ、健康増進に役立っています。

また、共通の話題ができたことで、コミュニケーションが活性化されました。



ホコタッチスポット

- 取組の成果・メリット**
- ① 従業員の健康意識が高まった。
 - ② 共通の話題ができコミュニケーションの活性化につながった。
 - ③ 企業イメージの向上。